

## 〈学界消息〉

### ◇日本環境教育学会第7回大会記録

日時 1996年5月11日(土)～12日(日)

場所 滋賀大学教育学部

#### 記念講演

5月12日 S会場

S201 日高敏隆(滋賀県立大学・学長)  
「自然界の実態—行動生態学からみた生物たち」

S202 内藤正明(京都大学工学部・教授)  
「地球時代の新しい環境観と社会像」

#### 一般講演(口頭発表)

5月11日 A会場

A101 「子供は学校でどこまで学ぶことができるか」—環境教育における価値の取り扱い—

石川聡子(大阪教育大学大学院)

A102 環境教育における現代台湾キャンプ教育の役割

陳 盛雄(東京農業大学造園学科風景企画研究室客員研究員)

A103 科学技術的環境教育と反省的環境教育：二つの国際的環境教育の事例を通して

原子栄一郎(東京学芸大学附属環境教育実践施設)

A104 小学校環境教育における「土の学習」の意義

植田善太郎(大阪 泉大津市立条東小学校)

A105 自主製作テキスト『まちの謎解きブック』のねらいと子どもの受け止めかた—石打における統合的環境教育に関する研究3—

○梶島邦江(聖徳大学)・佐藤守正

(上関小学校)・岩井晶子(上関小学校)

A106 資源・エネルギー・環境教育の教材開発に関する研究(その7)

—体験を通して資源・エネルギーと自分とのかかわりをとらえる小学校の学習モデル—

佐島群己(日本女子大)・○山下宏文(品川区立第二延山小学校)・○鈴木真(杉並区立桃井第四小学校)・○佐島 規(杉並区立杉並第一小学校)・田邊佳伸(府中市立府中第六小学校)・石井恭子(お茶の水女子大附属小学校)・石原 淳(保谷市立保谷第一小学校)

A107 資源・エネルギー・環境教育の教材開発に関する研究(その8)

—生活・文化や地球環境とのかかわりを重視する中学校・高等学校の学習モデル—

高山博之(京都教育大)・○伊原浩昭(千葉県教育庁)・○伏木久始(文化女子大附属杉並中・高等学校)・善財利治(佐倉市立白井中学校)・竹沢ゆみ代(日本環境協会)

A108 ネットワークを用いた環境教育の実践

上田容子(下松市立公集小学校)

A109 環境教育における「持続可能な発展」の意義—社会科授業での問題点とその解説に向けて—

河合丈志(奈良教育大学大学院)

A111 阪神淡路大震災がもたらした環境問題

織田裕行(兵庫県津名郡東浦町立学習小学校)

A112 地域に根ざした環境教育

武田順子(兵庫県津名郡東浦町立学習

- 小学校)
- 5月11日 B会場
- B101 パートナーシップによる環境教育を通して地域づくりー宝塚での取り組みから見えるものー  
飯島隆(宝塚市環境保全課)・松本郁子・岡村悦治・岡 靖敏(グローバル環境文化研究所)
- B102 教育キャンプにおける環境教育プログラムについてー屋久島少年少女サマーキャンプにおける取り組みー  
○浦田憲二(武蔵丘短期大学)・高瀬宏樹((社)日本キャンプ協会)
- B103 キャンプにおける自然に対する態度変容と感情, 知識の関連  
○岡村泰斗・宍戸和行(筑波大学大学院)・飯田 稔・関根章文(筑波大学)
- B104 生活史の観察から生命の連続を考えさせる試みーフジツボの一生をとりあげたプログラムー  
○佐野八重・中嶋清徳・内田 至((財)名古屋港水族館)
- B106 学生の自主的調査を取り入れた授業  
川又淳司(立命館大学)
- B107 生徒会による古紙回収システムとボランティア活動  
吉田 裕(奈良女子大学文学部附属高等学校)
- B108 多人数環境教育における学生の授業参加の試みー自主レポート制度ー  
和田 武(立命館大学産業社会学部)
- B109 土を使った環境教育(第4報)ー土の環境浄化機能を扱うー  
福田 直(埼玉県立自然史博物館)
- B110 大教大学生のキャンパスの自然に対する認識の変容を図る試み  
ー大阪教育大学柏原キャンパスのチョウやトンボ, 野鳥などの調査からー  
本田悦義(大阪教育大学大学院・和泉市立南松尾中学校)
- B111 「地球にやさしい21世紀のエンジニア」ー工業高校における環境教育への取り組みー  
飯尾美行(静岡県立浜松城北工業高校)
- B112 立命館大学におけるワークショップ型演習の試み  
○笹谷康之(立命館大学)・山本幹彦(京都ユースホステル協会)
- 5月11日 C会場
- C101 日本における環境教育実態調査のレビュー  
市川智史(鳴門教育大学・学校教育研究センター)
- C102 中華民国・台湾の環境教育  
萩原 豪(学習院大学大学院政治学研究科)
- C103 生活情報としての環境情報  
○矢内秋生(武蔵野女子大学)・中村博幸(京都文教大学)・池田勝枝(目白学園女子短大)
- C104 高校生の森林イメージにみる心理状態について(1)  
上原 巖(信州大学農学部)
- C105 地球市民育成のための大学環境「共育」の試み  
下羽友衛(東京国際大学国際関係学部)
- C106 環境教育における科学技術史の視点  
白砂洋志夫(上智大学理工学部)
- C107 大気汚染簡易測定法に関する試案ー手造りカプセルでNO2を捕集・測定した結果からー  
塚田蒼生子(春日井市青少年女性センター)
- C108 「環境科学教授法の研究」について  
丸山 博(室蘭工業大学)
- C109 環境リテラシー育成の視点から捉えた兵庫県南部地震ー造成住宅地の地盤災害を例にしてー  
藤岡達也(大阪府立大学大学院/大阪府立勝山高等学校)
- C110 省資源・省エネルギーに関する環境科学的方法論

- 坂井宏光（九州国際大学法学部）
- C111 中国への環境調査技術移転による環境教育実践  
杉浦公昭（東洋大学工学部）
- C112 自治体主体による環境講座の効果と影響—京都市・エコセミナーをケーススタディーとして—  
○宇高史昭（京都市衛生局環境保全室環境管理課）・山本幹彦（京都ユースホステル協会・環境教育事業部）
- 5月11日 D会場
- D101 環境教育方法論（3）—環境教育学会講演内容を基礎として—  
鈴木紀雄（滋賀大学教育学部）
- D102 環境教育における人間研究の重要性についてⅢ—生命科学から新たな人間観を探る—  
○西城戸 司（埼玉大学理学部）・篠崎恵昭（埼玉大学教育学部）
- D103 環境教育の枠組みの比較：実践者にとっての枠組みの意味を考える  
○林 浩二（千葉県立中央博物館）・原子栄一郎（東京学芸大学環境教育実践施設）
- D104 「自然の権利」主張は危険である！～文明の永続性を目指す教育，その基本認識（3）～  
林 智
- D106 自然的・社会的・文化的環境の一体化による主体的環境観の育成（そのV）—「アサガオいっぱいになれ」から「町探検」「自分探検」実践を通して感性和認識を育てる—  
中島美恵子（富山県高岡市立西条小学校）
- D107 環境教育と社会との関わりを考える—環境保全型経済社会整備がすすむなかで—  
岡 靖敏・岡村悦治（グローバル環境文化研究所）
- D108 アジア／南太平洋地域の水環境に関する環境教育の国際ネットワーク  
原田 泰（物質工学工業技術研究所）
- D109 アメニティ教育の必要性と方法  
赤尾整志（グローバル環境文化研究所）
- D110 公立小学校における環境教育の場の創作事例  
金田 平（（財）日本自然保護協会）
- D111 着衣泳の普及と関心について—地方都市釧路市の場合—  
諫山邦子（北海道教育大学釧路校）
- D112 子持村（群馬県）の自然環境の生物学的解析  
○信澤泰徳・小池啓一（群馬大学教育学部）
- 5月11日 E会場
- E101 欧州における環境政党（緑の党）の台頭  
山口裕司（宮崎公立大学）
- E102 動物園における環境教育の可能性  
石田 聡（東京都恩賜上野動物園）
- E103 中国の環境問題の点描と環境教育  
本庄 眞（奈良県東榛原小学校・奈良環境教育研究会）
- E104 江東区におけるエコロジーPTの活動について（報告）  
清田秀雄（江東区土木部環境整備課）
- E105 新たな森林利用と環境教育に関する—考察（Ⅲ）—森林教育における体験型教育について—  
関岡東生（東京農業大学）
- E106 有線テレビを活用した森林・林業教育への取り組み  
○山田隆信（山口県美祢林業事務所）・高須修三（山口県美祢市森林組合）
- E107 生活排水対策とその効果  
○山田一裕・須藤隆一（東北大学工学部）・斉藤英夫・鶴 謙一（宮城県富谷町）・鹿野信宏・佐々木久雄（宮城県下水道公社）
- E109 神奈川県内における市民参加の森づくりに関する植生管理

- 中川重年（神奈川県森林研究所）
- E110 コープながのインタープリター養成講座3年間の紹介  
○渡辺隆一（信州大学教育学部）・今井信五（しろま自然の会）・清水久美子（コープながの）
- E111 環境教育の舞台としての森林・林業・山村に関する考察（その1）  
外川 隆（早稲田大学）
- E112 科学館（理工系）における環境教育（その2）  
竹本裕之（広島市こども文化科学館）
- 5月11日 F会場
- F101 環境認識教育の実践－論理的思考能力と環境イメージの関わり－  
○澤居恵美子（上越教育大学大学院）  
・戸北凱惟（上越教育大学）
- F102 中学校技術科教育における環境教育のあり方  
○杉村二郎（滋賀大学大学院）  
・木島温夫（滋賀大学教育学部）
- F103 地域の社会的・文化的環境に焦点化した体験的環境学習Ⅰ－考え方と実践の試み－  
田中敏久（学校教育ネットワーク東京事務局）
- F104 生態ピラミッドの崩壊と生物多様性概念  
○服部昭尚・川嶋宗継（滋賀大学教育学部・環境教育湖沼実習センター）
- F105 環境教育における循環型社会の形成者の育成に関する研究－環境配慮行動にかかわる要因の分析－  
○藤井麻衣子（上越教育大学大学院）  
・渡邊彩子（上越教育大学）
- F106 教科をクロスして、環境の視点から行うエネルギー教育に関する実践研究  
三崎 隆（上越教育大学学校教育学部附属中学校）
- F107 校庭に作られた実験のため池1年間の推移から何を学ぶか  
相地 満（東海市立平洲小学校）
- F108 小学校における土壌を題材とした環境教育の授業実践  
○奥村裕之（大阪教育大学大学院）  
・植田善太郎（泉津市立条東小学校）
- F109 小学生の水循環概念の育成に関する基礎的研究－環境教育の視点から－  
○久良美幸・鈴木善次（大阪教育大学）
- F110 イギリスの環境教育（その4）－デザインとテクノロジー（Design and Technology）から－  
鷹野由希子（日本女子大学）
- F111 自然体験活動を中心とした環境教育プログラムの実践と意識の変容～地域の自然を生かして～  
○中込一雄・笹本久美（山梨県上野原町立甲東小学校）  
・樋口利彦（東京学芸大学）
- F112 子供会における環境学習－「史跡めぐり」とエコクラブ活動の報告－  
原田智代（天王寺区子供会育成連合協議会）
- 5月12日 A会場
- A201 ディベートを用いた環境教育教材の開発  
○須田雄一郎・中山和彦（筑波大学）
- A203 野外での学校行事を利用した環境教育－大阪市中学校における環境教育の現状と都市緑地を活用した環境教育の試み－  
村上幸子（大阪教育大学・大阪市立新北島中学校）
- A204 学校の自然や環境を調べる  
○和泉良司（横浜市立茅ヶ崎小学校）  
・宮崎裕明（横浜市立大正中学校）
- A205 小学校における富栄養化を素材とした環境学習の実践（1）植物プランクトンの培養実験を取り入れた学習  
○西村はつ江・中川知子（彦根市立佐和山小）  
・西川伸一（栗東町立大宝小）  
・服部昭尚・川嶋宗継（滋賀大・教育

- ・環境教育湖沼実習センター)
- A206 小学校における富栄養化を素材とした環境学習の実験(2)水の循環をベースとした学習  
○柘植幸隆・坂川千加子(石部町立石部小)・川嶋宗継(滋賀大・教育・環境教育湖沼実習センター)
- A207 小学校における富栄養化を素材とした環境学習の実践(3)料理実習との連携をめざした学習  
○西川伸一・橋本三佐(栗東町立大宝小)・稲垣明美(滋賀大附属中)・與倉弘子・川嶋宗継(滋賀大・教育)
- A208 中学校における選択教科「環境科」の取り組み  
○沓水司(湖北町立湖北中)・細江新悟(今津町立今津中)・川崎睦男(栗東町治田西小)・川嶋宗継(滋賀大教育)
- A209 「ふるさと今津」のよさを感じさせる環境学習教材の開発  
○細江新悟・体験学習教材開発グループ(今津町立今津中学校)
- A210 みんなで調べた!身近な自然(3)～ゴキブリを使った授業の実践(小学校編)～  
○篠崎芳弘・柚原 章・有馬進一(藤沢市生き物調査研究会)
- A211 環境教育用自然エネルギー施設の開発  
○上垣内賢司(神戸大学教育学研究科)・青木務・梶見和孝(神戸大学発達科学部)
- A212 「田んぼ水族館」を核とした熊野川小学校における環境教育の実践  
○西本匡志(愛知県刈谷市教員)・寺本 潔(愛知教育大学教育学部)
- 5月12日 B会場
- B201 総合教科「環境学」における講義【人の営みとエネルギー】  
○中道貞子・奈良重幸・藤田周子・吉田 裕(奈良女子大学文学部附属高等学校)
- B202 総合教科「環境学」におけるフィールドワークの一例  
中道貞子・○奈良重幸・藤田周子・吉田 裕(奈良女子大学文学部附属高等学校)
- B203 デイバートを用いた環境教育～総合科目(環境コース)での試み～  
○小浜 明・江成敬次郎(東北工業大学)
- B204 環境科学科・環境課題研究の実践  
清水 理・岸田光平(和歌山県立向陽高等学校)
- B205 工科系学生に対する環境教育－“環境電気工学”の構築－  
○河野 汀・金子文隆・梶川武信・佐藤 昭・佐藤甲斐・水谷 光(湘南工科大学電気工学科)
- B206 生活科学科と環境教育(第3報)－環境にやさしいライフスタイル実態調査の結果－  
栗林敦子(ニッセイ基礎研究所)・○池田勝枝(目白学園短期大学)・矢内秋生(武蔵野女子大学・短大)
- B207 衣生活と環境教育(第2報)  
磯部容子(佐賀大学教育学部)
- B208 保育者養成校における環境教育の1事例－自然体験をすることの価値－  
井上美智子(姫路学院女子短期大学)
- B209 大学生の記憶動物名の種名と群名  
○金森正臣(愛知教育大生物)・浜井美弥(日本モンキーセンター・リサーチフェロー)
- B210 アメリカ合衆国の環境教育の事例－高等教育－  
鈴木真理子(滋賀大学教育学部)
- B211 アフリカの森の恵から－焼畑農耕民と環境教育－  
安溪貴子(山口大学農学部非常勤)
- 5月12日 C会場

- C201 環境倫理学の視点を取り入れた環境教育の構想～総合学習としての環境教育の確立を目指して～土井妙子（東京学芸大学大学院教育学研究科）
- C202 音からの環境教育の実践報告（音風景コンサート「耳を澄ましてごらんのちの音がする」の開催について）長谷川有機子（スタジオ・マイ・ペース）
- C203 粉じんの簡易測定法とその環境教育への応用  
○田辺寛子・伊瀬洋昭（東京都立アイソトープ総合研究所）・岩元太郎（埼玉工業大学）
- C204 物のよごれの評価法の検討及び環境教育への応用  
○伊瀬洋昭・田辺寛子（東京アイソトープ総合研究所）・榎上かおる（アグネ技術センター）・岩元太郎（埼玉工業大学）
- C205 教育者、専門家等の連携によるまちづくり教育カリキュラムの検討とまちづくり活動の展開について～金沢市での事例～  
陣内雄次（財団法人地域振興研究所）
- C206 インターネットを活用した環境学習の先進事例研究  
○竹沢ゆみ代（日本環境協会）・尾花尚弥（三菱総合研究所）
- C207 1980年代の公害教育研究の意義に関する考察  
高橋正弘（埼玉大学大学院）
- C208 「共生」概念から見た環境教育・学習の目的  
新 広昭（金沢大学大学院社会環境科学研究科）
- C209 子供と母親の環境学習（2）微生物は手賀沼の底泥を苗床土（培養土）に変える  
○森 忠洋（緑土水の環境塾）
- C210 環境教育における地方環境行政の取組み  
○渡部智暁（筑波大学大学院環境科学研究科）・中山和彦（筑波大学）
- C211 みんなで調べた！身近な自然（4）～せみのぬけがら調査～  
神崎洋一（藤沢市生き物調査研究会）
- C212 白保親子教室～地域社会と協力した宿泊型環境教育プログラム事例～  
村田幸雄・○高橋由佳（(財)世界自然保護基金日本委員会）
- 5月12日 D会場
- D201 マンガによる環境教育  
高月 紘（京都大学環境保全センター）
- D202 生分解性プラスチックの土壤中における分解  
○石田 孝・山本佳則・三宅 勇（広島工大）・市後博造（広島工業技術センター）
- D203 幼児教育者養成教科で“環境”をどう紹介しているか（その4）  
近藤正樹（白梅学園短期大学）
- D204 学校教育における環境教育の課題～文部省環境教育担当教員講習会に参加した教師の意識から  
○樋口利彦・原子栄一郎・木俣美樹男・小川博久（東京学芸大学附属環境教育実践施設）
- D205 大学における学際的環境教育としての「保全生物学」  
小堀洋美（日本女子大学）
- D206 グリーンツーリズムと環境教育  
○北川光雄（静岡英和短期大学）・佐藤光（静岡県農地整備課）
- D207 世論誘導の解析とシステム化～都市教育とリスク科学の視点から～  
福島 古（グローバル環境文化研究所）
- D208 学校と家庭・地域社会が連携して進める環境教育  
高橋智枝子・豊島安明・斉藤平彦・仲村良子・風戸静江（内田小学校）
- D209 考古学的視点からみた災害後の環境

## 教育と災害文化の育成

山口誠治 ((財)大阪府文化財調査研究センター)

- D210 環境倫理と環境教育～成人教育としての環境教育へ向けて(Ⅱ)～  
大島英樹 (東京大学大学院教育学研究科)
- D211 公園緑地担当者に対する環境教育集合研修の効果について  
○日置佳之・半田真理子・田中 隆 (建設省土木研究所)・小河原孝生・竹市幸恵 ((財)生態計画研究所)
- D212 環境教育と産業教育  
荒木 光 (京都教育大学教育学部)
- 5月12日 E会場
- E201 秋吉台国定公園における地下水の汚染  
庫本 正 (秋吉台科学博物館)
- E202 1995年大阪府タンポポ調査  
○高畠耕一郎 (吹田市立山田中学校・大阪自然環境保全協会)・木村進 (大阪府立岸和田高校・大阪自然環境保全協会)
- E203 大阪シニア・自然大学の経験  
志甫忠男 ((社)大阪自然環境保全協会)
- E204 六甲山系の自然利用と阪神・淡路大震災  
○戸田耿介 (兵庫県立人と自然の博物館)・和田邦孝 (神戸市公園緑地部)
- E205 環境NGOにおける環境倫理  
藤村コノエ (エコ企画, 21世紀の環境と文明を考える会)
- E206 市民参加型の河川事業の推進  
能澤峻子 (日本環境学会会員)
- E207 河川を基盤とした持続可能な社会の創造－河川を柱とした持続可能な社会を目指した地域づくり－  
○増田直広 (埼玉大学大学院)・阿部治 (埼玉大学)
- E208 景観に対する人々の意識(第2報)－年代による比較－  
○川村協平 (山梨大学教育学部)・陳盛雄 (東京農業大学造園学科風景企画研究室客員研究員)
- E209 日本の国立公園における自然解説ボランティアの「自然」に対するフィロソフィーの研究  
○弓場雄一 (筑波大学環境科学研究科)・中山和彦 (筑波大学)
- E210 身近な自然の環境教育への教材化とその実践  
山本勝博 (大阪府教育センター)・○木村 貴 (堺市立金岡小学校)
- 5月12日 F会場
- F201 都道府県レベルにおける環境教育資料作成の現状について  
○辻 彰洋 (京都大学生態学研究センター)・服部昭尚・川嶋宗継 (滋賀大学環境教育湖沼実習センター)
- F202 住宅地域における子どもの遊び環境－奈良県宇陀郡榛原町での実態調査を通して－  
岩本廣美 (奈良教育大学教育学部)・本庄 眞 (東榛原小学校)
- F203 社会・文化系大学生の環境教育の実践と課題(その2)  
楨村久子 (奈良県立商科大学)
- F204 現行教育システムのなかで成立する環境教育の可能性  
－新しい倫理と社会システムに立脚した環境教育の教育学的基盤を求める試み－  
今村光章 (大谷大学)
- F205 幼稚園における音について  
奥山清子 (ノートルダム清心女子大学)・友田晴子 (倉敷市幼稚園)
- F206 環境教育からみた学校内の自然環境の現状と課題  
－「学校内の自然環境の現状とその利用状況に関する調査」の分析から－  
谷村載美 (大阪市教育センター教育研究室)

F207 イギリスの幼児期の環境教育の具体例－五感を使ったCuRiOXiTrail of OXFORT－

松永三姉緒（大阪薫英女子短期大学）

F208 幼児期における「環境教育」はどのように構成されるべきか

－感性と知性の規範性の統合されたものとしての環境への取り組みはいかに成立するか－

小川博久（東京学芸大学教育学部）

F209 オーストラリア・クイーンズランド州のゴミリサイクルに関する環境教育プログラム「リデュース・リユース・リサイクル」について

永谷真一・宮本泉（(財)科学教育研究会）・大石正道（北里大学理学部）

F210 アイガモ放飼稲作の環境教育教材としての有効性に関する研究

太田弘一（愛知教育大学・技術科）

F211 山口県宇部市における校区面積及び学校保有地面積とその用地比から見た教育環境

兼安本子（宇部市教育委員会派遣・恩田小学校）

一般講演（ポスター発表）

5月11日 P会場

P101 地球環境学習とコンピュータ通信によるネットワークづくりⅢ. グローブプログラムおよびワールドスクールの環境教育実践

○木俣美樹男・樋口利彦・原子栄一郎（東京学芸大学附属環境教育実践施設）

P102 危険生物への対応～スズメバチと遊ぶ

柴田敏隆（三浦半島自然保護の会）

P103 農・林・畜産業の“実学”で高校生・大学生に育つもの

○芝 英司（ヤマギシズム地球村実行委員会）

P104 自然農法を通してみた女子大生とその両親の生命環境への関心度について  
○今村真知子・高桑進（京都女子大学・自然科学教室）

P105 京都女子大学における生命環境教育の実践

○高桑進・宮野純次（京都女子大学）

P106 プールの水生昆虫相調査による環境評価の試み

長崎 撰（豊中市立第十七中学校）

P107 谷津干潟自然観察センターの環境教育プログラム

富岡辰先（(財)日本野鳥の会）

P108 CD-ROMコンテンツ「草津川の魅力」の制作

○加藤一郎（飛鳥建設株式会社）・笹谷康之（立命館大学理工学部）

P109 CD-ROMコンテンツ「草津川のサウンドスケープ」の制作

○成川秀幸・笹谷康之（立命館大学理工学部）

P110 音環境のとらえ方と情報づくりのこころみ

○松山正将・鈴木博司・花測健一・菊地清文・佐伯吉勝（東北工業大学）

P111 私たちの大切な海を考える マグネティックウェイ「海洋の探検」

高橋邦太郎（(株)IECC）

フィールドワークショップ（集合場所：552教室）

5月10日

「きのこ探索会」

企画者：岩谷美苗（自然文化誌研究会）

## ミニシンポジウム・ワークショップ

5月11日

- A会場A301 幼児期の環境教育－幼児期の環境教育の方法論を考える  
企画者：近藤正樹（白梅学園短期大学）
- B会場B301 「環境教育と学校ビオトープ」－生きものと共生する学習の場づくり－  
企画者：赤尾整志（グローバル環境文化研究所）・戸田耿介（兵庫県立人と自然の博物館）
- C会場C301 「大学環境教育が目指すもの」－大学環境教育と持続可能な社会  
企画者：川又淳司（立命館大学）・市川智史（鳴門教育大学・学校教育センター）
- W1会場W301 わくわく・ワークシート・ワークショップ  
企画者：今永正文（(財)日本野鳥の会）
- W2会場W302 「音は環境」－環境を感じるための創作イヤークゲーム入門ABC  
企画者：長谷川有機子（スタジオ・マイ・ベース）
- W3会場W303 環境教育・開発教育・人権教育のネットワーク－つながりに気づくワークショップ－  
企画者：山本幹彦（(財)京都ユースホステル協会）・アジア環境教育フォーラム日本準備委員会

5月12日

- A会場A401 食と農をめぐる環境教育  
企画者：鈴木善次（大阪教育大学）
- B会場B401 環境教育としてのタンポポ調査  
企画者：高島耕一郎・木村 進（(社)大阪自然環境保全協会）
- C会場C401 大学環境教育のあり方  
企画者：市川智史（鳴門教育大学・学校教育研究センター）・内山弘美（東京大学大学院）

- D会場D401 環境教育の枠組みを問いなおす－環境教育ってなあに？－  
企画者：辻 彰洋（京都大学生態学研究センター）
- E会場E401 <子ども－学校－地域をつなぐ>第3回学校教育ネットワーク ミニ・シンポジウム  
企画者：植田善太郎（泉大津市立条東小学校）・田中敏久（学校教育ネットワーク）
- F会場F401 冒険とあそび～今の子どもと昔の子ども  
企画者：木俣美樹男（東京学芸大学環境教育実践施設）・岩谷美苗（自然文化誌研究会）